

つながるご縁、 広がる仲間

## リファラル採用制度 スタート!

2025年10月1日より、当社の新しい人材獲得の取り組みとして「リファラル採用制度」がスタートしました。「一緒に挑戦してみない？」という皆さんの一言が、転職を悩んでいる方の背中を押す強い原動力になります。身近に素晴らしい方がいらっしゃいましたら、ぜひ積極的にご紹介ください。

2025年  
10月1日スタート!

### リファラル制度とは?

人材獲得と組織力強化、そして採用活動の効率化を目的として「リファラル採用制度」が新設されました。在籍する従業員が知人を紹介できる仕組みであり、紹介された方が通常の選考を経て入社し、所定の期間継続勤務した場合に紹介手当を支給するものです。

### 制度の概要

#### 対象となる紹介者

当社に在籍する正社員、準社員、パート・アルバイト従業員  
※採用候補者本人、およびその直系親族(二親等以内)は対象外となります。

#### 紹介手当と支給条件

紹介された方の区分や勤務状況に応じて手当が支給されます。

##### ●正社員・準社員採用：紹介手当 10万円

条件：入社後6か月間継続勤務していること

##### ●パート・アルバイト採用：紹介手当 1万~3万円

条件：入社後3か月間継続勤務していること。期間中の勤務時間に応じて支給されます

#### 支給の時期

上記の在籍期間を満了した後、直近の夏季賞与または冬季賞与の支給日に支給されます(支給日に紹介者が当社に在籍している場合に限りです)。

#### 選考について

最終的な採用判断は、当社の通常の採用基準に基づいて行われます。紹介によって採用が約束されるものではありません。

その他、詳しいフローやご質問・ご不明点は経理総務部までご連絡ください。

当社にも **入社前の縁** がきっかけで入社した方がいます!

リファラル制度新設前に「知人の声かけ」を通じて入社した  
営業部の西さんに、当時の心境などを伺いました!

営業部 ゼネラルマネージャー | にし しん べい  
兼 第一工事部 | 西 真平さん



#### 前職でのつながりとともに築いた信頼関係

前職の解体業者では、同僚の深見さんが営業を、私が施工管理をメインに担当していました。その後、私が営業を兼務してからは仕事上でも行動することが増え、信頼関係を築いていました。当時、私が転職を考えていることも、深見さんは日々の会話の中で知っていました。

#### 入社への決意を後押しした安心感

深見さんが小澤製作所に入社して半年ほど経ったころ、「興味があれば応募ページを見てみないか」と声をかけてくれたことがきっかけです。施工管理の仕事が続けたいという希望に募集内容が合致していたこと、さらに信頼できる深見さんが先に働いているという安心感が決め手となりました。実家から遠い河和事業所への配属でしたが、当時は若く、どこでも挑戦できるという強い思いがあり入社を決意しました。

#### 社員の挑戦を歓迎する、小澤製作所のリアルな魅力

実際に入社して感じた小澤製作所の魅力は、社員の考えや気持ちを優先し、しっかりと汲んでくれる点です。挑戦したいことに対して明確な理由や根拠があれば、会社が背中を押してくれます。年功序列ではなく個人のやる気や行動力を正当に評価してくれる風土があり、この素晴らしい環境で働けるきっかけをくれた深見さんに感謝しています。

#### メッセージ

転職を考えている人は、それぞれに悩みや理由を持っています。そこに知人から「うちの会社はどうだ」と声をかけてもらえることは、決断への大きなきっかけになります。誘われる側としては、気にかけて誘われてうれしいものです。「相手に重いと思われないか」と身構える必要はありません。新設されたリファラル採用制度。皆さんも身近に一緒に働きたい良い方がいれば、ぜひ積極的に声をかけてみてください。



#### 深見さんより一言

製造本部 サブディレクター  
ふか み えい じ  
深見 英司さん

前職の同僚である西さんが次の道を模索していると聞き、一つの選択肢として当社を提案しました。これから成長していく小澤製作所で、信頼できる西さんと一緒に盛り上げていきたいという思いがあったからです。紹介という形に縛られることなく、自分の意思で選んでほしいと背中を押しましたが、今こうして信頼の置ける仲間と力を合わせ、一緒に仕事ができていることが本当に嬉しいです。

## スムーズな段取りを支える

# 「想定する力」

～ 製造部の最前線で腕を振るう  
ベテランの思考 ～

製造部の最前線で腕を振るう野田上さん。  
熟練の職人は作業の過程で何を見つめ、どのような感覚をもって  
製品を仕上げているのでしょうか。  
現場で培われたプロの視点や、次世代へ贈る仕事の心得を伺いました。  
匠の歩みを通じて、ものづくりの真髄と成長へ繋がる姿勢を紹介します。



製造部  
の だ が み よ し ひ ろ  
野田上 美博さん

## 段取りの要点と熟練の差

### 図面と材料の徹底確認

作業を始めるにあたり、私が最も大切にしているのは材料の振り分けです。ここで間違いが生じると、その後の全工程にむだなロスが発生してしまいます。若手のうちはどうしても思い込みで動いてしまいがちですが、まずは指示書や図面を細部まで見落としなく確認することが大切です。「間違いないだろう」という主観を捨て、客観的な事実と照らし合わせる基本的な繰り返しこそが、ミスを防ぐ唯一の方法だと考えています。また、熟練者と若手の差は、製作の順番や現場の流れをどれだけ具体的にイメージできているかに表れます。全体の工程を頭の中で描き、必要な準備を先回りして行う。この「想定する力」が備わって初めて、スムーズな段取りが可能になります。

## 納得できる仕事の基準

### 顧客ニーズに応える最適解

納得できる仕事の基準は、お客様が求めている「最適解」を見極めることです。すべての製品を、ただ一律に過剰なまで綺麗に仕上げればよいというものでもありません。例えば現場の道具などは、必要以上に飾り立てるよりも、実用性を重視した適切な仕上げが求められます。こだわりすぎて無理なコストや時間をかけるのではなく、経験を積んで「この用途なら、このラインがベストだ」という自分なりの判断基準を持つこと。それが、結果としてむだのない効率的な仕事に繋がります。

## 成功を確信する手応え

### 想像通りの進捗と挑戦

仕事において確かな手応えを感じるのは、自分の想像通りに作業が進んだ瞬間です。また、時にはあえて従来とは異なる手順や、少し独自のやり方に挑戦することもあります。「こちらのほうが効率的ではないか」と考えた新しい試みが狙い通りに成功し、仕事が早く上がったときの充実感は格別なものです。長年同じことを繰り返すのではなく、常により良い方法がないかを模索し続ける姿勢を大切にしています。

## 技を学ぶための心構え

### 成功体験が「好き」を育てる

今の時代、技術を「盗む」という表現は適切ではないかもしれません。若手の皆さんに伝えたいのは、まずは自分に「はまっている」感覚を大切にしてほしいということです。私自身、最初からものづくりが大好きだったわけではありません。それでも続けていくうちに、「この仕事は自分に合っているな」「じっくりくるな」という感覚が芽生えてきました。最初から強い情熱がなくても構いません。やっけていく中で自分なりの「はまりどころ」を見つけることが、スキルを磨く原動力になると感じています。

## 組織力で守る命と品質

# ヒューマンエラー防止研修

小澤製作所では、作業手順書の標準化や施工管理育成教育など、安全で確実な「組織の仕組み」づくりに体系的に取り組んでいます。今回は、製造現場の「うっかり」をなくすために実施中のヒューマンエラー防止研修にスポットを当て、一人ひとりの成長を支援し、お客様に最高の品質と安心をお届けするための取り組みをお伝えします。

## 研修の目的

### 組織の進化で築く、強固な安全基盤と揺るぎない信頼

工業プラントや産業機械を扱う私たちにとって、小さなミスは時に重大な事故につながるリスクを秘めています。人間である以上、ミスを個人の力だけで完全にゼロにすることは困難です。だからこそ当社は「人への投資」を惜しまず、万が一ミスが起きても組織全体でカバーし合う強固な安全基盤の構築を進めています。これは単

なる義務ではなく、全員がプロフェッショナルとして成長するための、組織の大きな進化のステップです。安全基盤を「個人のスキル」から「組織の仕組み」へ昇華させることは、お客様のプラントの安定稼働と大切な資産を守り抜く最大の付加価値となります。

## 研修で学ぶ3つの「安全の仕組み」

### リスク可視化と予防策の構築

- 職場に潜むエラーの原因を洗い出し、事故を防ぐ予防策を構築することで、常に安定した高品質な施工・メンテナンスの提供を可能にします。

### 記憶や経験に頼らない安全設計

- 知識不足などによる誤判断を回避し、重大な作業漏れを防ぐ仕組みを学び、誰が現場に立っても変わらない安全品質を担保します。

### 命をつなぐコミュニケーション

- 思い込みを排除し、指示受けや伝達のすれ違いを防止する技術を習得し、緊密でミスのない連携を実現します。

## 研修カリキュラムの進捗状況

現場での実践と振り返り(事後課題)を交え、命を守る安全行動を体系的に身につけます。河和事業所にて実施した第1回研修では、現場に潜むリスクへの気づきを深める貴重な一歩を踏み出しました。

### 【第1回】基本理解とスリップ・ラプス型エラー対策 5月18日(月)

注意散漫や記憶の失敗による作業漏れのメカニズムを理解し、現場での具体的な防止策を習得しました。

### 【第2回】ミスメイク・バイオレーション型エラー対策 6月29日(月)

判断ミスやルール軽視が起こる原因をケーススタディから学び、確実な判断プロセスと安全文化を醸成します。

### 【第3回】コミュニケーションエラーの防止 7月中実施予定

伝達側・受け手側の双方に潜む思い込みを認識し、危険を確実に回避するための明確なコミュニケーション技術を習得します。

## メッセージ

### 成長の機会として 共に歩む

本研修は皆様が主役となり、「自らの現場の安全」をつくりあげるワーク中心の実践的な内容です。一人ひとりの高い意識と組織の仕組みが噛み合うことで、初めて「絶対安全」な職場が実現します。プロフェッショナルとしての誇りを胸に一歩進んだ安全スキルをともに身につけ、全員で組織の進化を牽引していきましょう。